

ようこそ、  
宇美町議会の皆さん！

古賀市議会の  
議会改革の取り組み  
その歩みと今後の課題

2016年5月9日（月）

古賀市議会

## 2015年度 視察に来ていただいた議会

- ①熊本県大津町議会（7月7日）
- ②愛知県小牧市議会（7月9日）
- ③埼玉県川越市議会（8月19日）
- ④愛知県知多市議会（11月5日）
- ⑤大分県竹田市議会（11月5日）
- ⑥京都府向日市議会（11月10日）
- ⑦群馬県渋川市議会（11月10日）
- ⑧長崎県対馬市議会（11月12日）
- ⑨兵庫県たつの市議会（11月13日）
- ⑩奈良県生駒市議会（1月26日）
- ⑪埼玉県行田市議会（1月29日）
- ⑫京都府長岡京市、向日市（2月8日）
- ⑬千葉県袖ヶ浦市議会（2月10日）
- ⑭滋賀県彦根市（2月15日）



視察時の説明の様子

## 2016年度の視察の予定

- ①4月28日（木）糟屋郡志免町議会
- ②5月 9日（月）糟屋郡宇美町議会
- ③5月18日（水）大分県津久見市議会

# 今日お話しする主なテーマ

## <前半>

- (1) 議会改革前史の紹介
- (2) 2011年5月以降の議会改革の経験
  - ◆制度上の改革や議会報告会など

※質疑応答

## <後半>

- (3) 政策提言力向上、今後の課題
  - ◆政策推進会議（防災対応、公共交通）  
大学とのパートナーシップ協定など
- (4) その他

※質疑応答

### 改革の模索 市制施行（1997年）を契機に

- 「議会だより」の発行
- 一日一委員会の開催
- 議会閉会中の所管事務調査
- 議長裁量による一問一答

### 検討の着手 活性化特別委（2010年）や議運

- 議会基本条例の視察研修、三重県議会事務局次長による研修会
- 特別委最終報告「基本条例は、来任期における重要な検討課題」

### 議会改革の実現 2011年5月の新体制発足による

- 議会基本条例策定を掲げた議長の所信表明
- インターネット中継、議会基本条例の施行、改革度九州沖縄1位
- 災害対応要綱や看護大学とのパートナーシップ協定

### 議会改革の定着・継続 2015年5月以降の今期

- 改選後の新たな体制による議会改革の定着、継続
- まち・ひと・しごと地方創生への対応
- スマホ、iPad対応

前半

1995年9月14日

議案採決を最終日にすること、一般質問持ち時間制を提案

議会運営に関する申し入れ書

我が町の人口も5万人を突破し、来る10月1日の国勢調査の結果が出れば、市制施行への法的条件をすべてクリアすることになります。

住民の意識も町民から市民となれば大きく変化するでしょうし、我々議員もそんな住民の負託に応えられるよう、率先して近代的・民主的な議会運営に努めていかねばなりません。

議会の権威を高め、住民の意志がより一層反映される議会となるために、以下の2点の改善を申し入れます。


記

- 1、我が町議会での議案審議は、例外的な議案を除き、初日に議案上程から趣旨説明・質疑・討論・採決まで全部終わらせています。議案審議がより慎重に進められるように、初日は趣旨説明と大綱質疑にとどめ、すべての議案は考案日を設けるものとし、採決は最終日とするよう申し入れます。
- 2、一般質問に与えられている時間の中には執行部の答弁の時間も含まれています。答弁の長さに関係なく、質問者が与えられた時間を十分に政策論争ができるように、質問者の発言時間のみが計られるよう申し入れます。

平成7年9月14日

高原正議長殿


賛同者


藤岡政春 

細島育代 

新町直子 

奴間健司 

仲道誠明 

清原留夫 

矢野順右 

三浦 浩 

20年前  
議会改革の一步が記された

# 前半

## 1996年9月の申し入れ 議会だより、一般質問の第一答弁書 一般質問通告書の傍聴者配布を提案

古賀町議会議長  
高原 正 殿

### 議会運営に関する申し入れ

今日の社会は政治・経済・文化など、あらゆる分野で急激な変化を遂げています。  
我が町議会においては今年、より民主的・近代的な運営を図るため、一般質問と会期日程について改善されました。これにより議案の慎重審議や、議会の活性化に相当の効果をあげていることは周知の事実であります。  
しかし国際化・情報化・高齢化と更に変革が進む中で、住民の負託に応え得る議会を目指すとき、尚一層の改善が求められていると思料致します。  
以上の観点から下記の3点について検討されるよう申し入れます。

### 記

- 1 県下、古賀町規模の自治体では、『議会便り』を殆ど発行しています。  
住民の方々に議会の審議内容をきちんと知らせるのは、当然の責務と考えますので、平成9年3月議会から、『議会便り』を発行するよう申し入れます。
- 2 一般質問は事前の通知を受けて、執行部は当日答弁を用意しています。  
議員と執行部が、対等の土俵で政策論議ができるように、一回目の答弁の概要を事前に質問者に提示されるよう要望致します。
- 3 一般質問日の傍聴者に渡す資料には、質問項目しか記入されておりません。  
傍聴者が、もっと議場での論議を理解できるような資料の提供を要望致します。

平成 8年 9月 日

### 賛同者

矢野 順 志

津 玉 政 春

篠 崎 秀 人

細 島 音 代

新 町 直 子

奴 間 健 司

仲 道 誠 明

清 原 留 夫

# 前半

## 前期議長（奴間健司）就任の所信表明（2011年5月）

**第1に、魅力と誇りある古賀市を目指す。**古賀市の持てる特徴を最大限に生かし、市民の皆様の幸せ、環境、福祉、子育て、教育、そして産業振興など魅力あるまちづくりを実現するため、議会として19名の議員全員で積極的に役割を果たすよう努力する。

**第2に、開かれた議会の充実を目指す。**議会だよりの充実や議会のインターネット中継、録画の配信、議会ホームページの充実、議会主催の報告会の開催、市民が傍聴しやすい環境整備に取り組む。

**第3に、議会の役割を発揮するために努力。**議案に対する活発な質疑、決算審査の充実と予算や施政方針への反映、各常任委員会における所管事務調査と提言、各種団体との意見交換等の充実に取り組む。議会全体での研修会、議会基本条例の制定や第4次総合振興計画の策定について取り組む。

**第4に、民主的な議会運営。**日ごろからの議員同士のコミュニケーションに加え、議員連絡会の定期開催、必要に応じた会派代表者会の開催、正副議長と事務局との定期的打ち合わせなどに取り組む。

**第5に、議会事務局の充実。**議会事務局の職員が仕事をしやすい環境整備に配慮し、議員の調査研究活動、政策づくりなどに対するサポート体制の充実に向けて配慮する。

# 前半

## 前期4年間の主な取り組み

- ・ 政務活動費条例
- ・ 会議規則改正
- ・ 深夜花火規制条例
- ・ 予算減額修正

2011年5月

2012年5月

2013年5月

2014年4月

インターネット中継検討

中継実現

議場モニター、委員会室カメラ

議会基本条例検討・可決

施行準備

施行・自由討議

検討に2年間  
施行準備に8か月

補正特別委、発言通告制、ボタン表決

8回 議員全員を対象とする研修会実施

500回 式典、イベント、各団体総会等での議長挨拶

200回の正副議長局長定例会議、月1回の議員連絡会

定例議会の前後に市長、副市長との協議の場

7月 初の議会報告会

災害時議会対応要綱

パートナーシップ協定

3月予算特別委の中継  
議会報編集常任委員会



# 前半

## インターネット議会中継に至る合意形成の経験

### ①検討期間

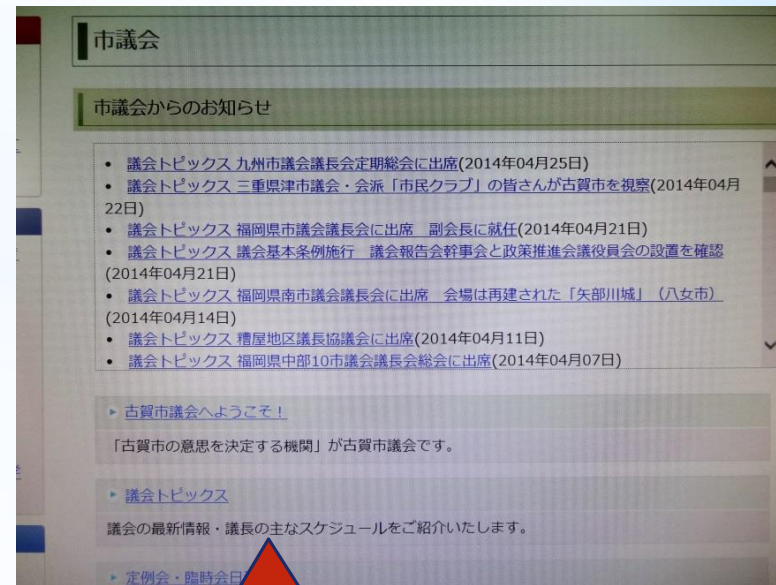
- ア) 検討開始：2011年6月3日
- イ) 会派代表者会議等での検討
- ウ) 同意確認：2012年1月18日（同意11人、不同意6人）
- エ) 市長の最終判断と全協での合意：2012年1月30日
- オ) インターネット中継開始：2012年6月5日

### ②検討してきたテーマ

- ア) 議会公開と議場老朽化対策は必要との共通認識
- イ) インターネット中継・録画配信はいまや標準的サービス
- ウ) インターネット利用率が高齢者でも増加し、障がい者にとっては必需ツールとなっている
- エ) 初期投資、維持管理費は導入議会の拡大とともに安価傾向
- オ) 合意形成と並行して老朽化対策・デジタル化の予算要求を提出
- カ) 定住化、企業誘致さらには防災や市民参画の審議会等の中継にも役立つので、予算は議会費でも効果はまちづくり全般に及ぶ

# 前半

2012年6月議会からインターネット  
中継・録画配信を始めました。



議会トピックスで  
リアルタイムの  
議会情報発信

委員長報告も掲載  
付託議案の審査結果  
閉会中の所管事務調査



2016年4月からスマホ、  
iPadでも中継・録画を見るこ  
とができるようになりました！

# 前半

## 会期中の委員会の審議日程を事前に公開しました 審議する議案名とその審議順番

**市議会**

市議会からのお知らせ

(2015年01月21日)

- 議会トピックス 会期中の市民建産委員会 請願審査で請願者の意見を聞きました(1月19日)
- 議会トピックス 会期中の文教厚生委員会 請願審査で請願者の意見を聞きました(1月19日)
- 議会トピックス 議会事務局の体制強化を求める要望書を市長に提出(2015年01月)
- 議会トピックス 委員会の審議日程をお知らせします(2015年01月15日)
- 議会トピックス 会派代表者会議 委員会条例改正案などを協議(2015年01月15日)
- 議会トピックス 平成26年第4回定例会を開きました 市長が所信表明を発表(2015年01月15日)

▶ [古賀市議会へようこそ!](#)

「古賀市の意思を決定する機関」が古賀市議会です。

平成26年古賀市議会第4回定例会 委員会の審議日程

開催日時・場所	審議日程
1月16日(金) 文教厚生常任委員会 午前9時30分開会	1 請願審査 -26年請願6 建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書の提出を求める請願 2 付託議案審査 -第80号議案 古賀市ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例等の一部を改正する条例の制定について -第85号議案 古賀市介護予防支援センターの指定管理者の指定について -第79号議案 古賀市教育委員会の組織に関する条例の制定について -第90号議案 工事請負契約の締結について -第86号議案 古賀市健康文化施設の指定管理者の指定について 3 議会閉会中の継続調査事項 4 その他
1月19日(月) 市民建産常任委員会 午前10時30分開会 第2委員会室	1 請願審査 -26年請願7 「家庭生ごみの資源化」を早期に実施することを求める請願 2 付託議案審査 -第81号議案 古賀都市計画下水道事業受益者負担に関する条例等の一部を改正する条例の制定について -第88号議案 市道路線の認定について -第89号議案 市道路線の変更について ※現地調査あり 3 議会閉会中の継続調査事項 4 その他
1月20日(火) 総務常任委員会 午前9時30分開会 第2委員会室	1 付託議案審査 -第87号議案 古賀高等学校組合規約の変更について 2 所管事務報告 -人事課 3 議会閉会中の継続調査事項 4 その他
1月21日(水) 補正予算審査特別委員会 午前9時30分開会 第1委員会室	1 付託議案審査 -第82号議案 平成26年度古賀市一般会計補正予算(第6号)について -第83号議案 平成26年度古賀市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について -第84号議案 平成26年度古賀市介護保険特別会計補正予算(第3号)について 2 その他

議案名  
と順番

# 前半

## 政務活動費の収支報告を公開しました (2015年1月21日)

▶ [古賀市議会会議録](#) (別のウィンドウが開きます)  
市議会の会議録を閲覧していただくことができます。(平成12年6月以降)

▶ [こが市議会だより](#)  
定期刊行している議会活動の広報誌です。

▶ [古賀市議会交際費の公開](#)  
市民のみなさんへ市議会の交際費の使途を公開いたします。

▶ [政務活動費の公開](#)  
市民のみなさんへ政務活動費の収支報告書を公開いたします。

▶ [古賀市議会ガイド](#)  
市議会の仕組みや議員の顔ぶれをご紹介します。

▶ [請願・陳情](#)

KOGA 古賀市 Official Site

Foreign Language | サイトマップ | ヘルプ

Home Page Usage | 文字の拡大 縮小 標準

Google Custom Search

トップ > 市議会 > 政務活動費の公開

緊急時はこちら

- ▶ 緊急病院の案内
- ▶ 緊急連絡電話帳
- ▶ 小児救急医療体制
- ▶ 災害・防災について
- ▶ 防犯の心得

ライフスタイル

- ▶ 各種届出・手続き
- ▶ くらし・環境
- ▶ 子育て
- ▶ 生涯学習
- ▶ 国保
- ▶ 福祉
- ▶ 生涯学習

### 政務活動費の公開

市民のみなさんへ政務活動費の収支報告書を公開いたします。

政務活動費とは

政務活動費は、地方自治法に基づき議員の調査研究に資するために必要な経費の一部として交付されます。古賀市議会では、議員1人当たり年額12万円を交付しています(会計年度ごとに精算し、残額は返還されます。使途の範囲等は添付ファイルをご覧ください。[古賀市議会政務活動費の手引き \(PDFファイル: 627KB\)](#))

### 政務活動費収支報告書

各議員の政務活動費の収支報告書を公開しています。  
[平成25年度収支報告書 \(PDFファイル: 200KB\)](#)

### 問い合わせ先

議会事務局  
電話：092-942-1134 (直通) Eメール：[gikai@city.koga.fukuoka.jp](mailto:gikai@city.koga.fukuoka.jp)

このページのトップへ

別紙1

平成25年度政務活動費収支報告書

議員名 坂間 健司

1 収入  
政務活動費 120,000 円

2 支出

項目	金額(円)	市出内訳書の番号
調査研究費	102,403	5、10
研修費	29,640	1、6
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費	5,334	2、7、8、9
事務費	6,290	3、4
支出合計	143,667円	

平成26年度分から領収書も含め全面公開へ

前半



予算特別委員会のインターネット中継開始  
(2015年3月9日)

70インチモニター  
議場内に3基

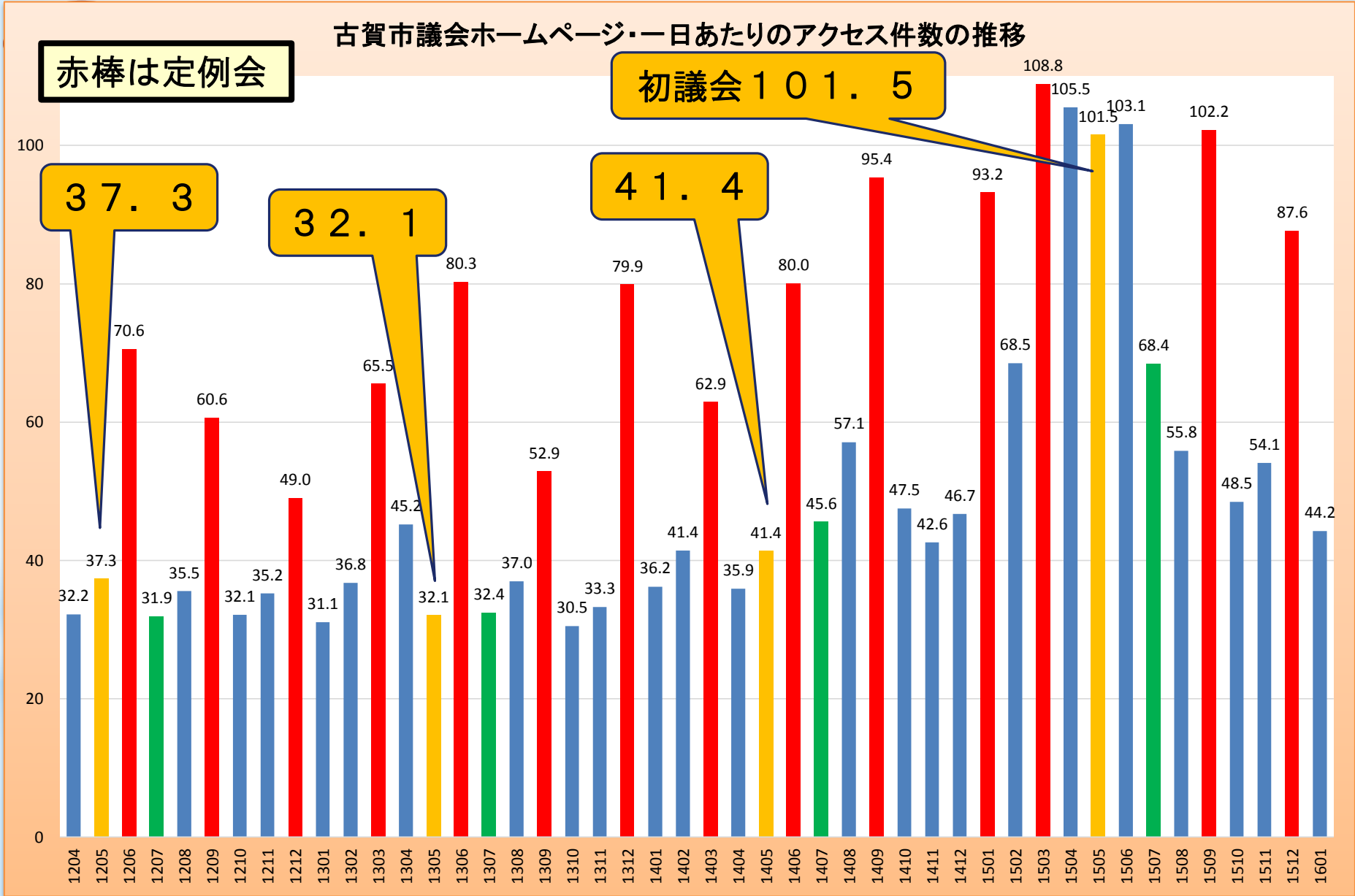


質問残り時間

書画カメラ

一般質問  
書画カメラを活用し  
モニターにグラフを表示  
iPadからのデータ映写も可能

# 古賀市議会ホームページを見てくれる方が増加しています



# 前半

## 議会基本条例の制定、施行に向けた取り組み

議会基本条例等調査特別委員会設置（2011年6月22日）

先進地視察

ワーキングチーム

市民アンケート

パブリックヒアリング

田中孝男先生研修会

素案検討小委

条例案検討小委

市民説明会

議会基本条例等調査特別委員会最終報告（2013年3月26日）

議会基本条例案議員提案（8人、2013年6月6日）  
賛成多数で可決（13：5，6月19日）

議会基本条例施行準備会設置（2013年8月22日）  
答申（2014年3月20日）

議会基本条例施行に向けた会議規則改正案  
全会一致で可決（2014年3月27日）

議会基本条例施行（2014年4月1日）⇒議会報告会

2年間の検討

8ヶ月の準備

実践

この8ヶ月間の  
経験が大きな  
特徴でした



### ① 条例の目的は何か

有っても無くてもよいのか、必要不可欠な条件か、市民への約束か

- ② 議会の役割（議決、批判・監視、さらに政策提言、結果の説明責任）
- ③ 議員研修を盛り込む必要性（個人、委員会、議会全体）
- ④ 自由討議（必要性、法的根拠、休憩中でいいのかどうか）
- ⑤ 会議の原則公開（現状評価、傍聴者の許可口述の修正）
- ⑥ 議会報告会（議会として、会派・個人として、議員個人の意見の扱い）
- ⑦ 一問一答（一括質疑も認めるべきか、一問一答の意義）
- ⑧ 反問権（質疑と質問の違い、代案・根拠を必要とするかどうか）
- ⑨ 政策推進会議（特別委員会とどう違うのか）
- ⑩ 条例案の委員会提案か議員提案か
- ⑪ 条例案は賛成多数で可決、8ヶ月の準備期間を経て会議規則改正は賛成全員で可決（政策推進会議や議会報告会に関する要綱等を整備）
- ⑫ 条例案の文言の適正化における議会事務局の役割
- ⑬ 2014年4月以降は議員全員一丸となって  
具体化に取り組めた！

議会基本条例施行から2年経過。  
改選もありましたが、その効果を  
実感しています。

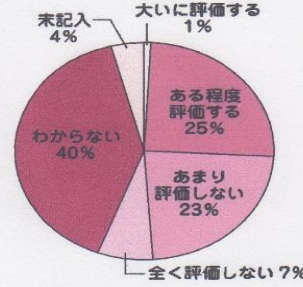
# 前半

議会を身近にする市民アンケート  
 2011年10月実施  
 2000人配布、456人回答  
**議会報告会要望 48%**  
**インターネット見る 57%**

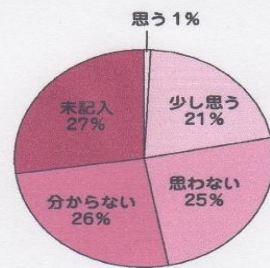
市民の声を聞く会  
 2011年11月22日開催  
 39人参加  
**議会報告会を行政区ごとに開催を  
 議会基本条例に期待している  
 議員のやる気と質の向上が必要**

## 「議会を身近にする市民アンケート」 「市民のみなさんの声を聞く会」を開催

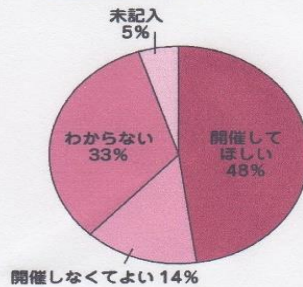
古賀市議会の動きをどのように思いますか。



市民の声が市議会に反映されていると思いますか。



議会報告会の開催についてどう思いますか。

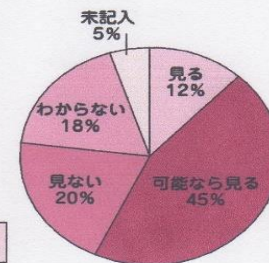


アンケート数	回収数 (通)	回収率 (%)
2,000	456	22.8

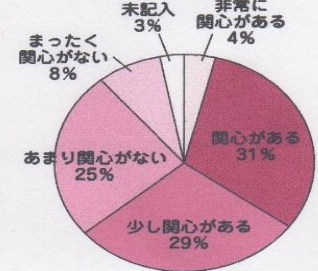
昨年(2010年)の6月定例議会で設置された「議会基本条例等調査特別委員会」では、さまざまな見地から、議会基本条例について調査研究中です。  
 昨年の10月には、市民2000人を対象にした「議会を身近にするための市民アンケート調査」を実施。456人から回答を頂き、自由記述では、たくさんの貴重なご意見をお寄せいただきました。

議会が何をしているか分からない、議員はもっと勉強するべき等のご意見もありましたが、議会だよりを楽しみに読んでいる、議会の活性化に期待している等のご意見も多く頂きました。市民の皆さんの議会に対する評価を改めて認識しました。  
 これからも、市民の皆さんに信頼される、開かれた議会を目指したいと思います。

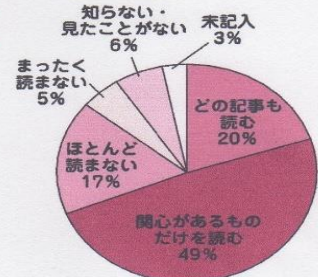
インターネットによる議会の中継・録画配信をどう思いますか。



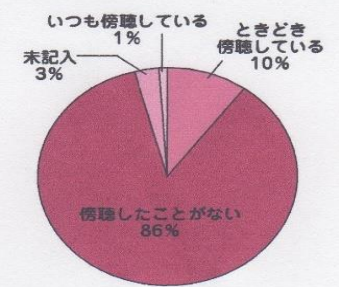
あなたは議会に関心がありますか。



「古賀市議会だより」を読んでいますか。



議会傍聴をしたことがありますか。



**議会**で初めての取り組み  
**アンケート調査で、市民456人から回答**

前半

# 議会報告会幹事会

各常任委員会、議運の  
正副委員長で構成



前期

2014年4月30日・議会応接室  
初めての幹事会



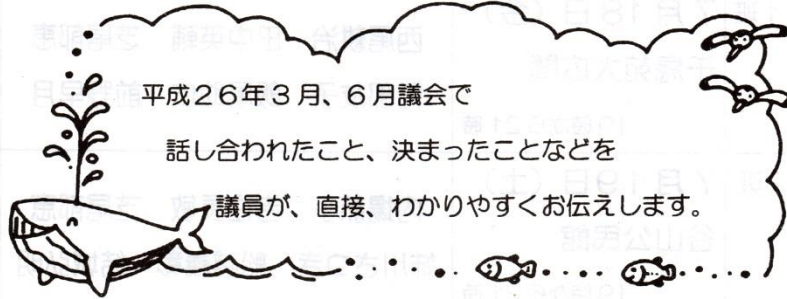
今期

2015年9月14日・第2委員会室  
今期の幹事会

# 前半

古賀市議会からのお知らせ

## 第1回 議会報告会



### 開催日時

- 7月18日（金） 千鳥苑大広間
  - 7月19日（土） 谷山公民館
  - 7月20日（日） リーパスプラザ
- 3会場とも 19時～21時 大会議室

開催内容 □ 3月、6月議会の審議状況について

□ ご意見

市議会や市政へのご意見をお聞かせください。

参加方法 どの会場でもご参加いただけます。

各会場の担当議員は、

お近くの会場へお越しください。

市民の皆さんのおいでをお待ちしています。

主催 古賀市議会 問い合わせ先 古賀市議会事務局 ☎

前期

初の議会報告会  
お知らせのチラシ



議会報告会の開催日時・会場



	日時・会場	担当する議員
1班	7月18日（金） 千鳥苑大広間 19時から21時	西尾耕治 田中英輔 芝尾郁恵 阿部友子 飯尾助広 前野早月
2班	7月19日（土） 谷山公民館 19時から21時	内場恭子 吉住長敏 芝尾郁恵 姉川さつき 舩越義彰 結城弘明
3班	7月20日（日） リーパスプラザ 大会議室 19時から21時	許山秀仁 高原伸二 清原哲史 倉掛小竹 仲道誠明 三好貴一

☆議員が交代する場合があります。

☆ご参考に、「こが市議会だより 平成26年第67号」をご持参ください。

### ごあいさつ

4月1日、古賀市議会の議会基本条例がスタートしました。これは市民の負託に応え、開かれた活弁な議会とするために議会として取り組むことを定めたものです。いわば市民の皆さんとの『約束』を明らかにしました。その一つとして、

古賀市議会議長 奴間健司

☎092-942-1134



平成 27 年



リーパスプラザ大会議室  
19:00~20:30



古賀市のこと、一緒に語り合みましょう  
古賀市民 ✦ 古賀市議会

主催：古賀市議会 お問い合わせ：古賀市議会事務局 092-942-1134

今期 2 回目 の 報告会 を 9 月 定例会 後  
に 開催 する こと を 確認 しまし た。

3 中 学 校 区 の 公 民 館 と  
高 校 や 看 護 大 な ど で も 計 画 し た い と  
考 え て い ま す

今期

今期初めての  
議会報告会  
お知らせのチラシ  
2015年  
11月14日

# 前半



前期

議会報告会幹事会の様子  
2014年6月12日・第1委員会室

プレゼン・リハーサル

前半

会場の全景  
2014年7月20日・リーパス

前期

初の議会報告会に103人が参加、よかったと評価

- 7月18, 19, 20日の議会報告会に市民103人が参加
- アンケートには開催を評価する声が記入



古賀

議会基本条例に基づき初の報告

古賀市議会は18、20日の夜、市内の3会場で、市議会基本条例に基づいて市民への議会報告会を初めて開いた。同条例は昨年の6月定例会で可決し、規則や要綱を整備した後、今年4月1日に施行された。

報告会は議員18人全員が会場ごとに役割分担して実施。20日はリーパスプラザの大会議室であり、約40人が出席した。写真。議員たちは議会基本条例について解説付きの条例文を配って説明した後、本年度予算の主な内容を報告。私立認可

140723 西日本

はなしの横丁

保育所建設計画については「付帯決議も行い、引き続き執行部に（地元住民などへの十分な説明などの）履行を求めている」と述べた。質疑応答では、同条例や市の人口、公共交通問題などについて質問や意見が続出。市議会は、市民の意見をどう取り上げて執行部に伝え、対応したかについて市議会だよりやホームページで報告するという。

議会報告会の報道  
2014年7月23日・西日本新聞



今期初めての  
議会報告会  
2015年  
11月14日



今回初めて取り入れた「カフェ」方式に3グループに分かれ、各委員会委員が順番に回ります。参加者から多くの意見が出されました。今年も9月定例会後に3中学校区での改正を予定。

# 古賀市議会の改革度 全国で46位、九州沖縄で4位(日経新聞調査)

17  
6月



議会の動き

## 九州・沖縄 市議会改革度 佐賀・嬉野市が首位

全国813市区議会を対象に情報公開や住民参加などの進み具合を測った日本経済新聞社の議会改革度調査で、佐賀県嬉野市が九州・沖縄の118市の中で1位になった。九州・沖縄の市議会は全国ベスト50位までに6市が入った。嬉野市の首位は2012年の前回調査から2回連続。全国では9位だった。他市に先駆けて運営規範を定める議会基本条

本社調査 ネットで議案公開

九州・沖縄の市議会改革度の上位10位

1(9)	嬉野市(佐賀県)
2(30)	佐伯市(大分県)
3(36)	大分市
4(46)	小郡市(福岡県)
4(46)	古賀市(福岡県)
6(49)	鹿島市(佐賀県)
7(52)	霧島市(鹿児島県)
8(66)	佐賀市
9(68)	北九州市
10(74)	豊前市(福岡県)

(注)カッコ内は全国順位

例を制定。住民に向けた議会報告会を開いたり、インターネットで議案の公開したりした点が評価された。「より開かれた議会運営を目指し、9月定例会より議案の市議会事務局」という。上位では大分県の佐伯市(2位)と大分市(3位)がともに前回より順位を1つ上げた。

九州・沖縄市議会改革度で古賀市が4位  
(日経新聞)

6月17日の日経新聞は、九州・沖縄の市議会改革度を報道しました。議会基本条例やインターネット議会が評価されていますが、佐賀県嬉野市がトップ。そして古賀市がなんと第4位に評価されていました。全国では、第46位で、前回の340位から大躍進でした。

「日経グローバル」が全国813市区議会を対象に実施した第3回議会改革度調査の結果でした。四日市市(三重)をトップに、会津若松市(福島)、高山市(岐阜)がベスト3。議会基本条例を制定した議会は356とこの2年で2倍以上に増え、全議会の4割を超えました。

古賀市議会がこのように評価されたことは、議員全員の努力と議会事務局の協力の賜物です。これを励みに今後も頑張りたいと思います。まずは7月18日から20日の議会報告会をしっかりと取り組みます!



### 議長裁量で一問一答を16年前から導入

- 2000年8月に申し合わせ事項の改正
- 一般質問で一問一答が実施される（持ち時間は30分）

### 議会基本条例で一問一答を正式に規定

- 2014年4月1日から施行
- 基本条例 第9条

議会の会議における議員と市長等との質疑応答は、市政上における論点および争点を明確にするため、**一問一答の方式で行うことができる。**

### 議会基本条例で反問権付与を規定

#### ●基本条例 第9条第2項

議会の会議及び委員会において、市長等は、議員の質問、政策提言、議員提出議案等に関し、議論を深めるため、議長又は委員長の許可を得て、当該議員に対し反問することができる。



議会基本条例で定めた反問権等の運用について  
議長と市長で確認書に調印（2014年3月27日）

#### 確認書（抜粋）

- 反問の内容が、議員が行った質問・質疑の範ちゅうから逸脱していると議長もしくは委員長が判断したときは発言を中止できる。
- 一般質問ならびに施政方針質疑で反問に対する議員の答弁時間は、持ち時間に算入しない。
- 市長等は、反問権を行使するときは論点、争点を明確にするという趣旨を十分踏まえるものとする。

### 議会基本条例で市民による政策提言と位置付け

#### ●基本条例 第6条第4項

議会は、請願及び陳情を市民による政策提言と位置づけ、その審議において必要があると認める場合は、**提案者の説明および意見を聴く機会を設けることができる。**

### 従来の請願審査

- ①所管委員会に付託
- ②紹介議員から願意の説明
- ③紹介議員に対する質疑
- ④休憩中に請願者の意見、質疑
- ⑤再開して討論、採決

＜今後の課題＞

請願者の意見聴取のルール化

### 陳情

- ①陳情文をコピーして  
全議員に配布
- ②議会だよりに記載

# 前半

請願者の意見を正式に聞く機会を実現  
2015年1月の文教、市民建産委員会



文教厚生委員会  
(2015年1月16日)



市民建産委員会  
(2015年1月19日)

紹介議員の説明と質疑が終了したあと、5分以内という条件で  
請願者から意見をお聞きしました。

### 議会基本条例で自由討議尊重を規定

- 基本条例 第4条第1項

議員は、議会が言論の府であること及び合議制の機関であることを十分認識し、**議員相互の自由な討議を尊重しなければならない。**

### 会議規則で自由討議の運用を規定

- 会議規則第52条の2、第115条の2

質疑終了後、議長（委員長）が必要があると認めるとき又は動議があったときは、会議に諮って**自由討議を行うことができる。**

- 会議規則第60条、第122条 質疑、自由討議又は討論が終わったときは、議長（委員長）はその終結を宣言する。

## 議会基本条例施行前に自由討議を試行

- 2013年12月議会  
補正予算審査で休憩中に自由討議を試行

## 総務委員会で自由討議を活用

- 2014年6月議会  
総務委員会に付託された議案審査（自治基本条例策定委員会設置条例）  
で自由討議を活用

## 決算特別委員会で自由討議を活用

- 2014年9月議会  
決算審査で質疑終了後、公共交通の在り方について自由討議を行い6人が  
発言。委員長報告に盛り込む。

## まち・ひと・しごと特別委で自由討議

- 2015年9月～12月 各会派・議員の意見を基に自由討議

## 市民建産委員会で自由討議を経て「附帯決議」「決議」

- 2016年3月議会 国保税改定に伴う市長への要望



# 閉会中の所管事務調査と議案審査の最近の経験

国保改定の  
協議会諮問  
(2015年11月)

国保改定の  
協議会答申  
2016年1月28日

法定外繰入  
による  
改定率確定

国保改定の  
議案提出  
2016年2月22日

国保改定の  
議案可決  
市長に5点要望

「市長声明」実現。  
「決議」可決後の執行  
状況を確認。

閉会中の所管委員会 (2月2日)

会期中の所管委員会 (3月8日)

会期中の所管委員会 (18、22日)

最終日の本会議 (28日)

閉会中の所管委員会 (4月26日)

- 国保改定の諮問、答申の**報告なし**
- 独自の調査に基づき事実経過を指摘  
答申の資料提出を求める
- 最初は抵抗したが副市長との協議を  
経て**答申書を提出**

- 国保運営協議会の会議資料に基づき  
「論点」を整理して議案審議
- 委員から**自由討議を求める動議**

- **附帯決議案**を審議し可決

**自由討議** ↓ **附帯決議**

**「決議」を委員会提出・可決**

- 4月25日付で**「市長声明」**を  
発表。国に対する「緊急要望」  
(古賀市長名)を早急に提出する  
ことを確約

# 前半

## タブレット活用

### 議運メンバーで霧島市議会の先進事例を視察研修

●2013年7月（政務活動）

議員18人中、すでに16人がタブレットを活用

●2013年3月議会で資料のPDFファイルを提供

議運で逗子市議会のタブレット活用を視察

●2014年7月29日

9月議会最終日に報告。執行部に早期検討を提言。



Googleドライブを  
活用した資料、日程、名簿  
などの共有から着手

逗子市議会の視察風景

前期

2016年4月からスマホ、  
iPadでも中継・録画を見るこ  
とができるようになりました！

### 議会だよりで全議案の議員ごとの賛否を掲載

- 2005年3月から主な議案賛否、2012年から全議案押しボタン式表決システムを導入

- 2014年6月議会

- 会議規則第70条（起立等による表決）に押しボタン式表決を規定。賛成、反対を明確にした。



- 押しボタンによる採決後、議長は「投票総数・人、賛成・人、反対・人、よって可決・否決」と口述。
- 可否同数の場合は、直ちに議長裁決とする。以前は投票を行っていたが、可否同数が明確であることから投票を省略することが可能となった。

# 前半

## 今期議長（結城弘明）の立候補の際の 所信表明（2015年5月）

### 行動指針

前期に施行した議会基本条例に基づき、二元代表制の元、執行部とは建設発展的に議論し、可能な限りの議員総意を求め、その最良の意志に基づき即行動。議会内では建設的な議論を経てオリジナリティに富んだ古賀市議会の形成に努力

### 1 議会運営（判りやすい議会の構築）

#### （1）議会の可視化の拡充

- ①インターネット配信の有効活用と使用促進のための周知
- ②議会報に関する市民アンケート、必要かつ親しまれる広報

#### （2）議員間の情報の共有

- ①庁内研修の充実
- ②タブレット端末の有効活用や情報機器活用に向け執行部に働きかけ
- ③視察来庁には書簡の委員会は可能な限り対応し情報を得る。

### 2 まちづくりへの施策について

#### （1）にぎわいと希望ある古賀市を創る

- ①第4時総合振興計画後期見直し素案、まち・ひと・しごと創生総合戦略  
に対し特別委員会などの体制づくり
- ②人口増対策について三世代が定住できる環境づくり
- ③土地の有効活用で経済の活性化

#### （2）積極的政策提言、執行部の評価・支援、県・国<sup>36</sup>の働きかけ

# 議会閉会中の所管事務調査

各課から文書資料とともに各事業等の進捗状況の報告を受け、質疑を行う。

総務委員会（総務部）

（1日間）

文教厚生委員会（教育部、保健福祉部）

（2日間）

市民建産委員会（市民部、建設産業部）

（2日間）

委員長報告全文  
をホームページ  
にアップ

3委員長の報告  
A4版4ページ  
45分程度

定例会最終日の本会議  
議会閉会中の継続審査付託

定例会初日の本会議  
議会閉会中の所管事務調査報告

# 議会閉会中の継続審査付託

## ・ 総務委員会

1. 秘書及び渉外に関する事
2. ほう賞及び儀典に関する事
3. 例規、文書及び公印に関する事
4. 不服申立て、訴訟、和解及び調停に関する事
5. 行政経営の総合的な企画、推進及び調整に関する事
6. 統計調査に関する事
7. 広報及び公聴に関する事
8. 財政に関する事
9. 財産管理に関する事
10. 入札、契約及び検査に関する事
11. 情報政策及び電子情報システムに関する事
12. 職員の人事、研修、給与及び福利厚生に関する事
13. 防災に関する事
14. 防犯に関する事
15. 交通安全（他に属するものを除く）に関する事
16. 選挙に関する事
17. 情報公開に関する事
18. 市営住宅に関する事
19. 国民保護に関する事
20. 行政区、自治会及びコミュニティ組織に関する事
21. 行財政改革に関する事
22. 市民活動の支援に関する事
23. 男女共同参画に関する事

## ・ 文教厚生委員会

1. 義務教育に関する事
2. 社会教育に関する事
3. 社会福祉及び社会保障に関する事
4. 児童に関する事
5. 保健福祉関係各法に関する事
6. 高齢化対策に関する事
7. 保健衛生及び保健予防に関する事
8. 健康づくり（他に属するものを除く）に関する事
9. 介護保険に関する事

## ・ 市民建産委員会

1. 戸籍、住民基本台帳及び印鑑登録に関する事
2. 国民健康保険及び国民年金に関する事
3. 福祉医療及び高齢者医療に関する事
4. 税に関する事
5. 債権の処理に関する事
6. 人権に関する事
7. 環境衛生及び環境保全に関する事
8. 廃棄物の処理及び清掃に関する事
9. 道路、橋りょう及び河川に関する事
10. 治山、治水及び林道に関する事
11. 土地利用政策に関する事
12. 開発指導に関する事
13. 都市計画及び都市整備に関する事
14. 公園及び緑地に関する事
15. 市有建築物の建築及び営繕に関する事
16. 住居表示に関する事
17. 農林業及び畜産に関する事
18. 農業振興及び農業土木に関する事
19. 商工業及び観光に関する事
20. 労働政策に関する事
21. 交通安全施設に関する事
22. 公共下水道に関する事
23. 農業集落排水に関する事
24. 国土調査に関する事
25. 水道事業に関する事
26. 農業委員会事務に関する事

# 議会改革の成果が凝縮した会期日程

日	曜	開議時刻	摘 要
2/29	月	9時30分	本会議(初日) 開会・会期の決定・会議録署名議員の指名・諸報告・所管事務調査報告・施政方針演説・議案上程(提案理由の説明) 施政方針に対する代表質疑通告締切 15:00
3/1	火		休会(考案日) 議案大綱質疑通告締切 12:00 [寛成館卒業式] 一般質問通告締切 15:00 16:00 議会運営委員会
2	水		休会(考案日)
3	木	9時30分	本会議(2日目) 施政方針に対する代表質疑、議案に対する大綱質疑、委員会付託 補正予算審査特別委員会・予算審査特別委員会(正副委員長互選) (一部議案は質疑・討論・採決)
4	金	9時30分	総務常任委員会
5	土		
6	日		
7	月	9時30分	文教厚生常任委員会
8	火	9時30分	市民建産常任委員会
9	水	9時30分	補正予算審査特別委員会 予算審査特別委員会(資料要求及び日程の決定)
10	木		休会(考案日) [中学校卒業式]
11	金	9時30分	予算審査特別委員会①(1款～3款)
12	土		
13	日		
14	月	9時30分	予算審査特別委員会②(4款～8款)
15	火	9時30分	予算審査特別委員会③(9款～予備費)
16	水	9時30分	予算審査特別委員会④(歳入～市長質疑・特別会計)
17	木		休会(考案日) [小学校卒業式]
18	金	9時30分	一般質問 ( 5 )人
19	土		
20	日		春分の日
21	月		振替休日
22	火	9時30分	一般質問 ( 6 )人
23	水	9時30分	予算審査特別委員会⑤(討論・採決)
24	木	9時30分	議会報編集常任委員会
25	金		休会(考案日) 討論通告締切 12:00
26	土		
27	日		
28	月	9時30分	本会議(最終日) 付託議案の報告・質疑・討論・採決(追加議案の質疑・討論・採決) 閉会中の継続審査付託 閉会 議員連絡会

閉会中の所管事務調査報告

2日目の本会議で  
大綱質疑⇒委員会付託

各常任委員会で  
付託議案の審議(自由討議)

補正予算を  
特別委付託(議長除く議員全員)

5日間かけて予算審議  
特別委付託(議長除く議員全員)

一般質問  
持ち時間30分、一日5人か6人

一般質問終了後  
予算の特別委での討論・採決

最終日での委員会報告  
討論・採決(討論は通告制)

# 前半の質疑応答



後半

「こが市議会だより」の歩み

1997年3月 議会だより発行検討委員会

1997年9月24日「市議会報編集委員会」発足

1997年11月 「創刊号」発行～第74号まで発行

1999年6月 「議会報編集特別委員会」設置

2005年1月 嬉野町議会の視察

2005年3月 賛否一覧、討論概要掲載

2006年2月 深沢先生研修会・地方議会人掲載

2011年2月 「議会報編集マニュアル」を作成

2015年3月 「議会報編集常任委員会」化を可決

後半

投稿

私は昨年本誌10月号で、「市町村合併と議会広報の進路」と題していくつかの提言を行ったところである。

合併によって自治体の圧倒的多数が市となり、国民のほぼ9割が「市民」になるという現実を踏まえ、市町村の議会が一体となっ「広報を見直し、質の向上をすべきこと。その中で町村の視が窺ってきたコンセプト

を受け継ぎ、生かしていくべきであること。市町村合同の議会広報研究・研修体制を構築すべきことを提言させていただいたのである。これに対して各方面から共感の反応が寄せられており、平成18年度から市町村合同で研修会を開きたいという声もあり、心強く感じている。

そうした矢先、1月末に、福岡県の古賀市議会（小山利幸議長）

から、市議会だより特別委員会の研修会講師を依頼したいとの連絡があり、私としても初めての市議会からのお招きなので喜んで承諾した。

その後、古賀市の議会広報編集特別委員会（坂間健司委員長）から最新号の議会広報紙とバックナンバー、創刊以来の歩みを記した資料、研修会訪者のためのスлайド説明資料が送られてきたが、こ

広報コンサルタント 深沢 徹



古賀市議会だより研修会に参加して

玄界灘を臨む九州に、こんなに意欲ある市議会広報があった!!

「地方議会人」  
2006年4月号に  
古賀市議会だよりが  
紹介されました  
2015年6月号でも  
紹介

- ①議員の主体的取組み
  - ②前向きな編集姿勢
  - ③親しみやすい紙面づくり
  - ④課題として
- ・一般質問のレイアウト
  - ・予算・決算のデータ
  - ・議案審議、討論者氏名
  - ・ページ数の弾力化

# ここが聞きたい！ 一般質問

## 企業誘致の現状及び計画をどうするのか

（答）引き続き関係機関と協議を重ねていく



岩井 秀一 (志成会)

**問** 都市計画道路の現状と将来はどうするのか。

**答** 都市計画道路の整備に取組んでいるが、今後は古賀駅周辺開発に伴う整備実現が課題である。

**問** 市内3駅周辺の整備、開発について。特に千鳥駅周辺の開発は。

**答** 古賀駅周辺については事業化に向けた検討を行っている。しお駅周辺については、駐輪場増設等、必要に応じ整備対応、千鳥駅周辺については地権者の方と用地交渉を含め現在、整備に向けて取り組んでいる。



玄望園の開発実現が優先課題との認識か

**問** 経年劣化が進む公共施設の再配置や長寿命化など、どうするのか。

**答** 各施設の台帳などを基に施設の維持管理や利用状況を確認した上で、28年度までに「公共施設等総合管理計画」を策定し、方針を定める。

**問** 企業誘致について、具体的にどうするのか。

**答** 今年度は必要な施策面の整備を進めたい。周辺自治体に先駆けて工場敷地内での緑地等の面積規制緩和の実現や雇用に対する支援措置を盛り込んだ「古賀市企業立地促進条例」を上げする。上位計画との整合性を図り、大規模未利用地である玄望園の開発実現に向けて、県との調整などの支援を行いたい。

**問** スマートインター通への意欲は。

**答** 地域の利便性及び企業誘致での用地確保において必要。玄望園の開発や他地区にも波及する。

**問** 市庁舎の移転についての考えを問う。

**答** 分庁状態は問題であるとの認識。難題ではあるが、可能性を検討する。

**問** 諸問題を部分的ではなく総合的に判断する市長の英断に期待する。

## 徴税狙いのマイナンバーは中止に

（答）拡大利用には必要な措置を講じる



内場 恭子

**問** マイナンバー利用の市民のメリット、デメリットは、マイナンバーへの対応はどうか。個人情報情報は守られるのか。

**答** 市民の社会保障や税の手続きが便利になる。個人情報情報の漏洩・流失を危惧。国と連携して必要な措置をする。

**問** 市民や事業者への説明が不足では。

**答** 広報や出前講座などで適切に周知している。

**問** マイナンバー制度の狙いは徴税強化。マイナンバーを利用しなくても市民生活には支障はない。基本的人権の個人情報を守るために中止すべきだ。



もっと使いやすいバスにして

**問** 使いやすい公共交通を

**答** 公共交通への見解は、現状の西鉄バスが基幹路線。お出かけタクシーなどで一定の公共交通は確保している。

**問** 高齢化・少子化対策、人口増対策として、市の公共交通をどう評価するのか。市民要望の把握は。

**答** アンケートなどで把握。地域に出向き意見交換の場などを確保し、市民ニーズに応える。

**問** 70歳以上へのグラントパス65購入への補助の評価と今後はどうか。

**答** 高齢者の外出に一定の寄与。国の交付金は見込めず継続は困難。

**問** 西鉄バスの便が少ない。公共交通機関やバスがないなど困っている人たちへの対応はどうか。

**問** 利用者が少ないが、最適なものにしている。補完的なもので対応を。

**問** お出かけタクシーだけでは不十分。研究だけで終わらないように。市民が望む、細やかな公共交通を実現してほしい。

**問** 公約のバイオマス発電計画は進んでいるのか。

**答** 古賀市の特性を活かしたものを研究する。活用してほしい。

# 議会だよりの一般質問のスタイル 経験交流をお願いします！！

## 一般質問



時任 裕史 議員

**問** 2015年10月、世界保健機関の国際がん研究機関がハムやベーコン、ソーセージなどの加工肉に発色剤として使用されている亜硝酸ナトリウムに高い発がん性が認められると調査報告を発表。学校給食における亜硝酸ナトリウムの使用の有無は。

**答** 学校給食のハムの場合、亜硝酸ナトリウムの含有量は、市販品の1kg当たり0.07gに対し、0.02g以下を使用。

**問** 学校給食用パンは含油量が少ない低トランス脂肪酸を使用。パン給食を減らし、マーガリンも極力使用を控えている。

**答** 2008年4月、英国食品基準庁は、タール系色素の使用による注意欠陥多動性障害との関連が疑われるとメーカーに自主規制を勧告。学校給食におけるタール系色素の使用の有無は。合成着色料は極力使用を控えている。

**問** 人工甘味料のアスパルテームとスクラロースは、生物化学兵器、農薬からできた人工甘味料。学校給食における人工甘味料の使用の有無は。

**答** 少量の摂取で、すぐに健康に影響は出ないが、子どもや妊婦は特に注意が必要。学校給食における人工甘味料の使用の有無は。市販の加工物を使う。手作りの調理を工夫するなど、食の安全・安心な給食の提供に努めていきたい。

**問** 学校給食において危険な添加物の使用に

**答** 学校給食におけるpH調整剤の使用の有無は。pH調整剤は極力使用を控えている。

## 安心・安全な学校給食を

添加物の少ない食材の調達に努める

**問** 全米食品医薬品局は2015年6月、一部の菓子やマーガリンなどに含まれ、心臓疾患のリスクを高めるトランス脂肪酸の原因となる油の使用を禁じる

**答** 学校給食におけるトランス脂肪酸を含む食品の使用の有無は。

**問** pH調整剤は食品の品質、変色を防ぐもので、多量に摂取すると健康保持に不可欠な腸内細菌を殺し、イライラや神経過敏の原因とされる。

**答** 学校給食におけるpH調整剤の使用の有無は。pH調整剤は極力使用を控えている。



小学校での給食風景

## 後半

## 今後の取り組み

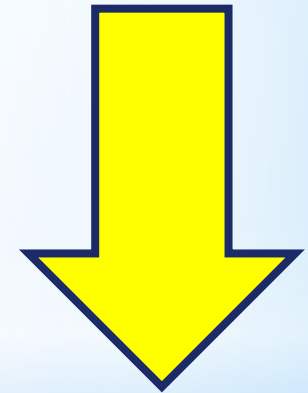
所管事務調査、予算や決算審査  
質疑の結果をどう活かすか

議員間の自由討議  
議案審議の結果や提言等にどう活かすか

政策推進会議の本格的取り組み  
市民の声や一般質問は政策資源

研修と専門家の助言  
大学等とのパートナーシップ協定

制度上の  
改革



政策力の  
向上

## 後半

## 議案修正、議員提案条例

### 総合振興計画に対する議会としての提言の経験

- 第4次総合振興計画に対する6点の提言（2013年2月臨時会）

### 予算関係の減額修正案可決の経験

- 当初予算案の海外視察費の減額修正（2013年3月議会）
- 補正予算案の保育所新設補助の減額修正（2013年12月議会）
- 当初予算に対する付帯決議（2014年3月議会）

### 議員提案による条例制定の経験

- 深夜花火規制条例の議員提案、可決（2013年6月議会）

後半

## 前期の政策推進会議役員会の活動 古賀市議会災害対応要綱を策定

今回の熊本  
地震はこの  
レベル

### 「災害対応要綱案」

- ①警戒本部第1配備  
局長が議長に報告
- ②警戒本部第2配備  
議長は副議長、総務正副委員長を招集
- ③災害対策本部  
議長は議会災害対策会議を設置（正副議長、議運と各常任正副委員長）
- ④所掌事務  
安否及び居場所確認、災害情報の集約、市対策本部への情報提供、市対策本部からの情報の議員への提供  
※議会事務局職員は議会の対策会議の事務に従事することになった。

前期

2014年5月1日に役員会発足  
各会派選出メンバーで構成、議長はオブザーバー

後半



前期

災害時の議会对応要綱を市長に報告防  
災ジャンパーとヘルメットを購入  
(議員互助会の会費)



後半



今期

古賀市議会災害対策会議の設置訓練  
(2015年11月29日・第1委員会室)



後半

今期



今期の政策推進会議

政策推進会議  
政策テーマ選定に向けて発表会を実施  
(2015年10月19日)



地域公共交通をテーマに決定各会派・議員等で  
公共交通の構想(案)を提出し  
議員間討議を実施

# 後半



まち・ひと・しごと創生総合戦略特別委員会  
2015年10月23日



執行部に意見を提出  
2015年  
12月15日

# 後半

## 議会研修会の開催 課長、係長等を講師にテーマ別の研修会

前期は、財政、高齢者、産業、土地、教育、健康、農業の7テーマで実施。  
今期も、財政で実施。



前期

荒木教育長（当時）を講師に研修会  
2012年11月7日

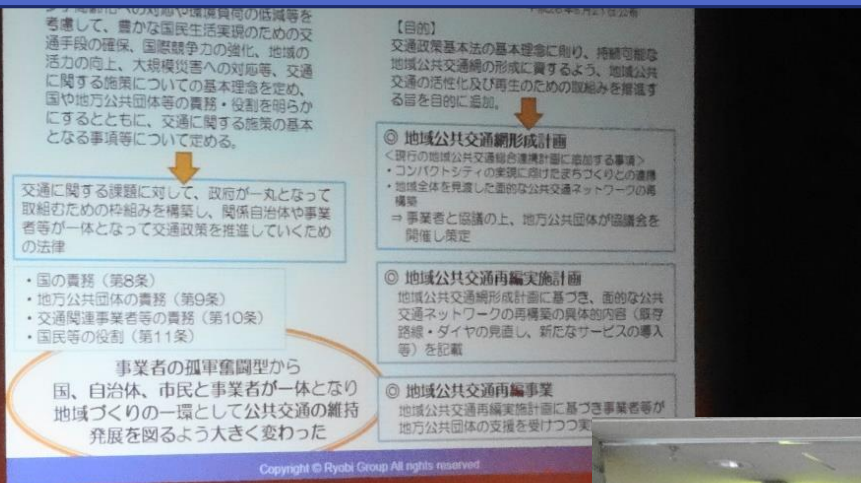


今期

財政問題研修会  
2015年8月11日

# 地域公共交通総合研究所の小嶋光信理事長を講師に研修会 福岡県中部10市議会の200人が参加（2014年10月29日）

後半



議員全員で研修会を開催  
政策提言に生かしたい

「交通政策基本法」  
「地域公共交通活性化再生法」  
国の政策は大きく変わった



政策推進会議で研修会  
九州運輸局の方を講師に公共交通について学ぶ



2016年2月18日  
第1委員会室

# 議会と大学のパートナーシップ協定

2月24日に協定書締結並びに記念講演

後半



福岡女学院看護大学



古賀市議会



健康寿命延伸に向けた学生の地域活動

市と大学の  
包括的連携



公民館でのヘルスステーション

# 後半

福岡女学院看護大学と古賀市議会の  
パートナーシップ協定を締結  
(2015年2月24日)



看護大学の松尾和枝教授が  
議場で記念講演  
(2015年2月24日)



前期

後半

# パートナーシップ協定に基づく取り組み



福岡女学院看護大学の学生5人が  
議員にインタビュー  
2015年5月27日

学生によるインタビュー第2弾  
一般質問録画を見て質問  
2016年5月13日予定



福岡女学院看護大学の松尾教授が  
県市議会議長会研修会で講演  
2015年10月15日  
健康寿命延伸、議会と大学との  
パートナーシップ協定を発信

今期



後半

小中学生、高校生  
大学生に開かれた  
議会をめざす



前期



傍聴席は保護者、学校の先生方で満席

議場で小中学生が作文発表会  
(2015年2月14日)

# 3回目の議場での作文発表 (2016年2月13日)

小中学生が堂々と意見発表

子どもたちが傍聴席の  
保護者等にお礼



表彰式



# 議会事務局体制強化を求める要望書を市長に提出 正副議長、議運正副委員長で手渡す（2015年1月15日）

後半



前期

今期も  
この体制は継続

2015年5月に  
実現しました

2015年5月以前の状態

- 正規4人と再任用1人
- 業務の過重負担
- 5月に育休正規の復帰



- 正規職員5人の確保
- 再任用1名の確保
- 議会基本条例施行に対応できる議会事務局体制の確立が大きな趣旨
- 産休対応を正規職員配置とする

後半

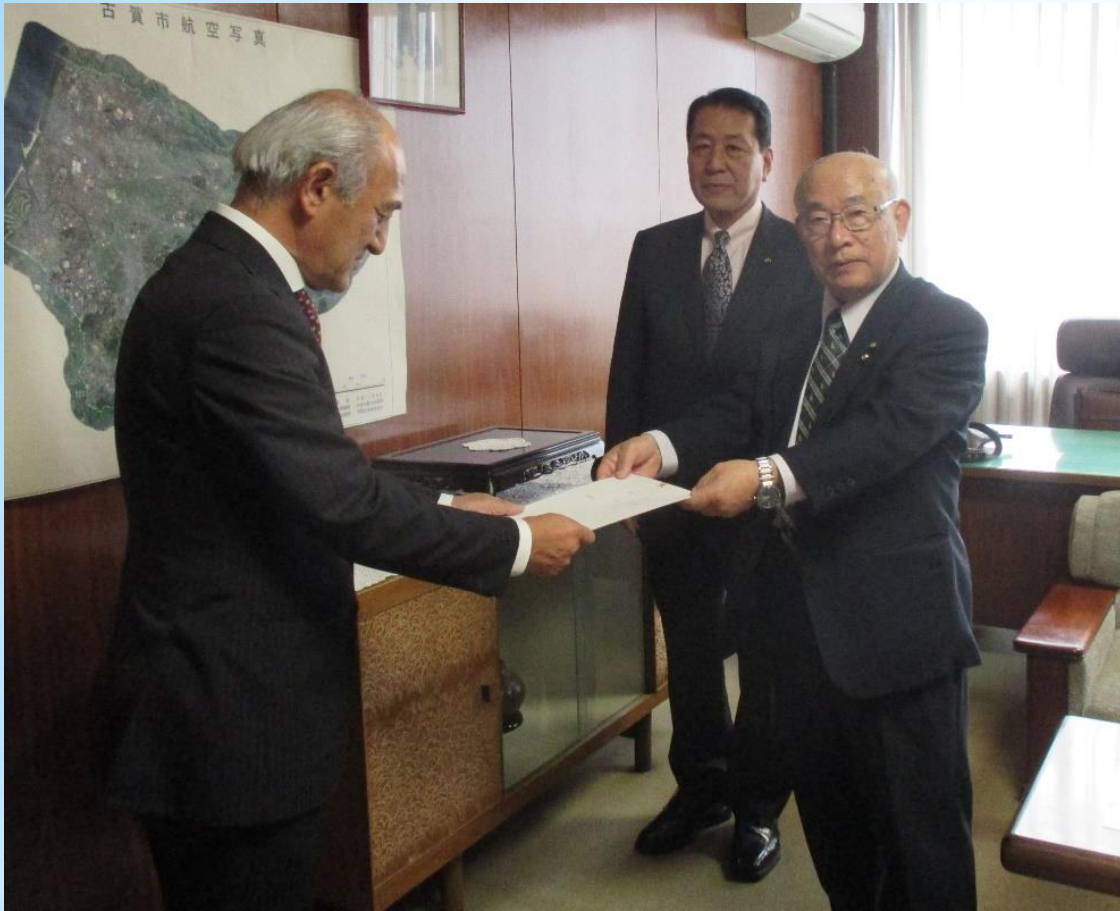
大浦係長の参事補佐  
昇任辞令交付  
(2015年4月1日)



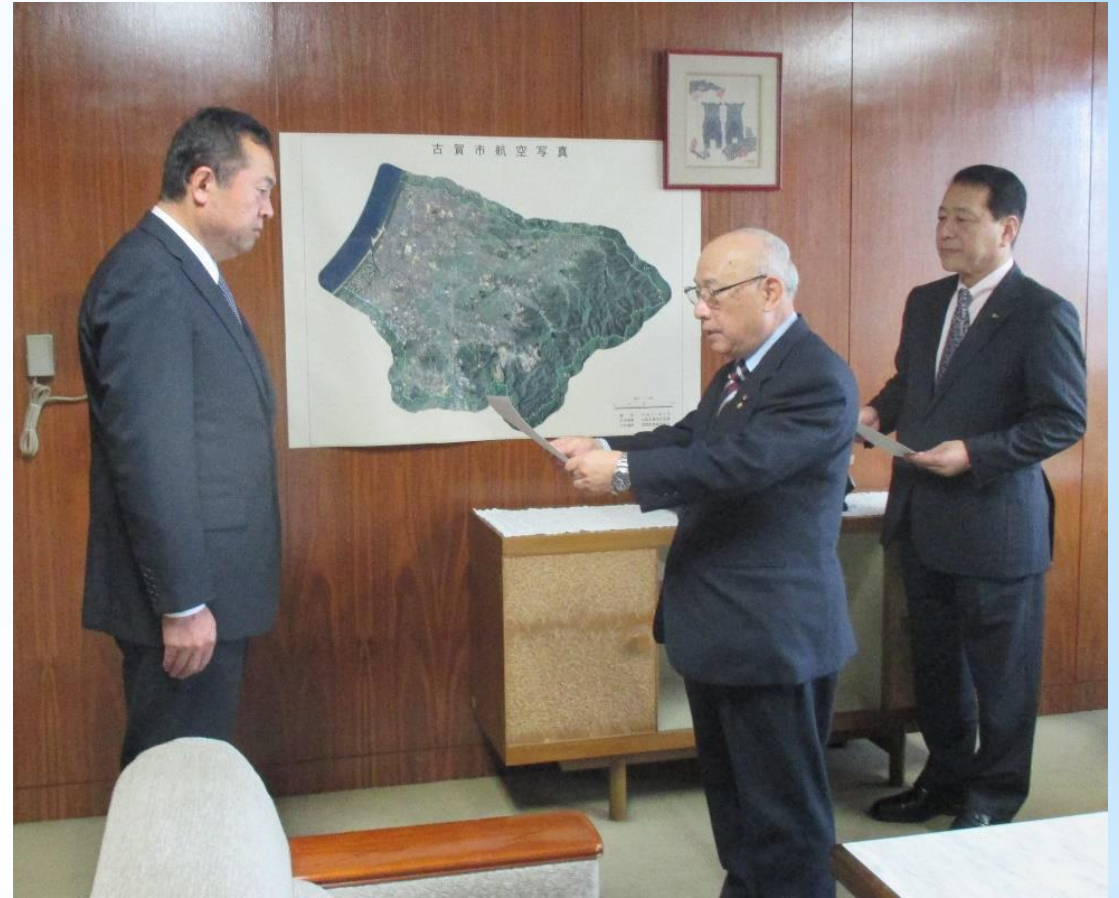
前期



古賀主事の復職辞令交付  
(2015年5月1日)



清水前局長の辞令交付  
(2016年3月31日・議長室)



吉村新局長の辞令交付  
(2016年4月1日・議長室)

後半

早大マニフェスト研究所「議会改革度調査2014」

九州・沖縄で第1位の評価  
 (2014年度)  
 2015年5月22日に新聞報道

### 九州の改革度上位10議会

総合順位	議会	項目別順位		
		情報公開	住民参加	機能強化
1 (32)	福岡県古賀市	55	91	39
2 (33)	鹿児島県	119	12	79
3 (38)	大分県佐伯市	178	13	74
4 (47)	大分市	246	129	22
5 (49)	鹿児島県霧島市	152	10	174
6 (63)	北九州市	64	421	42
7 (65)	福岡県筑前町	349	18	88
8 (81)	福岡県大牟田市	314	34	130
9 (82)	佐賀県嬉野市	301	91	79
10 (91)	大分県	209	220	88

※カッコ内は全国順位

### 地方議会改革度ランキング

早稲田大マニフェスト研究所は、全国の地方議会の改革度ランキングを発表した。1位は北海道芽室町議会。九州では福岡県古賀市議会（全国32位）がトップだった。議会活動の評価や検証、住民参加の工夫などが順位を分けた。

今年2月から議会にアンケートを行い、情報公開、住民参加、議会機能強化の取り組み（2014年度）を点数化して順位をつけた。全議会の84%に当たる1503議会が回答した。

古賀市議会は前年の312

## 古賀市32位 九州トップ

位から大きく順位を上げた。13年6月の議会基本条例制定をきっかけに①請願審査の委員会で、提出者の意見を直接聞く②予算、決算委員会のインターネット中継③議会報告会の開催などに取り組んでいる。定例会のたびに、一般質問など議会運営の改善点を確認しているのも特徴だ。

芽室町議会は議会活動の自己評価、住民との意見交換を活用した政策形成の仕組みをつくり、議会便りを毎月発行している。全国2位は鳥取県議会、3位は三重県四日市市議会だった。

研究所の中村健事務局長は「改革の形を整えた議会は実際の活動を振り返り、検証する必要がある。また改革に取り組んでいない議会は、住民の不要論に危機感を持つべきだ」と総括。「上位の事例を参考にしてほしい」と呼び掛けている。

(前田隆夫)

日経新聞社(2013年度)  
 九州で4位、福岡県で1位

後半

総合順位	都道府県	議会名	個別順位			個別得点			合計得点(積)		偏差値	
			情報公開	住民参加	機能強化	情報公開	住民参加	機能強化	和(参考)	積	和	
1	北海道	芽室町議会	2	1	1	595	440	800	209,440	1,835	193.8	101.7
2	鳥取県	鳥取県議会	1	110	2	605	280	700	118,580	1,585	128.6	91.8
3	三重県	四日市市議会	18	2	7	450	410	620	114,390	1,480	125.6	87.6
4	福島県	会津若松市議会	21	7	3	435	370	690	111,056	1,495	123.2	88.2
5	新潟県	上越市議会	6	4	16	515	395	525	106,798	1,435	120.2	85.8
6	岐阜県	高山市議会	4	2	36	550	410	435	98,093	1,395	113.9	84.2
7	三重県	三重県議会	3	79	8	555	290	605	97,375	1,450	113.4	86.4
8	大阪府	堺市議会	12	23	9	470	330	590	91,509	1,390	109.2	84.0
9	京都府	京都市会	8	152	4	485	265	685	88,040	1,435	106.7	85.8
10	東京都	町田市議会	5	5	64	525	375	400	78,750	1,300	100.1	80.4
11	兵庫県	宝塚市議会	24	21	19	430	340	510	74,562	1,280	97.0	79.6
12	岐阜県	可児市議会	101	29	6	350	325	635	72,231	1,310	95.4	80.8
13	京都府	京都府議会	15	34	25	460	320	470	69,184	1,250	93.2	78.4
14	京都府	亀岡市議会	12	18	42	470	345	425	68,914	1,240	93.0	78.0
15	千葉県	流山市議会	30	193	5	415	255	640	67,728	1,310	92.1	80.8
16	兵庫県	神戸市会	7	220	16	500	250	525	65,625	1,275	90.6	79.4
17	三重県	伊賀市議会	38	23	23	400	330	485	64,020	1,215	89.5	77.0
18	滋賀県	大津市議会	55	68	10	385	295	560	63,602	1,240	89.2	78.0
19	北海道	福島町議会	90	48	12	360	305	555	60,939	1,220	87.3	77.2
20	宮城県	宮城県議会				415			58,826	1,170	85.8	75.2
21	北海道	栗山町議会				450			57,409	1,170	84.7	75.2
22	茨城県	取手市議会				505			56,989	1,180	84.4	75.6
23	奈良県	奈良市議会				465			56,219	1,190	83.9	76.0
24	岩手県	岩手県議会				400			56,100	1,155	83.8	74.6
25	神奈川県	大磯町議会				500			54,313	1,170	82.5	75.2
26	兵庫県	西脇市議会	101	91		350	285	525	53,366	1,170	81.8	75.2
27	京都府	福知山市議会	69	48		370			2,475	1,140	81.2	74.0
28	新潟県	新潟市議会	30	41	24	415			2,290	1,130	81.1	73.6
29	神奈川県	横須賀市議会	16	79	69	455			2,120	1,140	80.9	74.0
30	三重県	鳥羽市議会	95	41	35				9,203	1,110	78.8	72.8
31	愛知県	犬山市議会	38	170	29	400			7,320	1,115	77.5	73.0
32	福岡県	古賀市議会	55	91	39	385	285	430	47,182	1,100	77.4	72.4
33	鹿児島県	鹿児島県議会	119	12	79	340	360	385	47,124	1,085	77.4	71.8
34	山口県	下関市議会	24	110	95	430	280	375	45,150	1,085	75.9	71.8

情報公開  
55位

住民参加  
91位

機能強化  
39位

ランクが問題ではない。自己診断に役立てることが大事。





# 後半の質疑応答

ご清聴ありがとうございました。  
今後も情報交換、経験交流を  
お願いいたします。